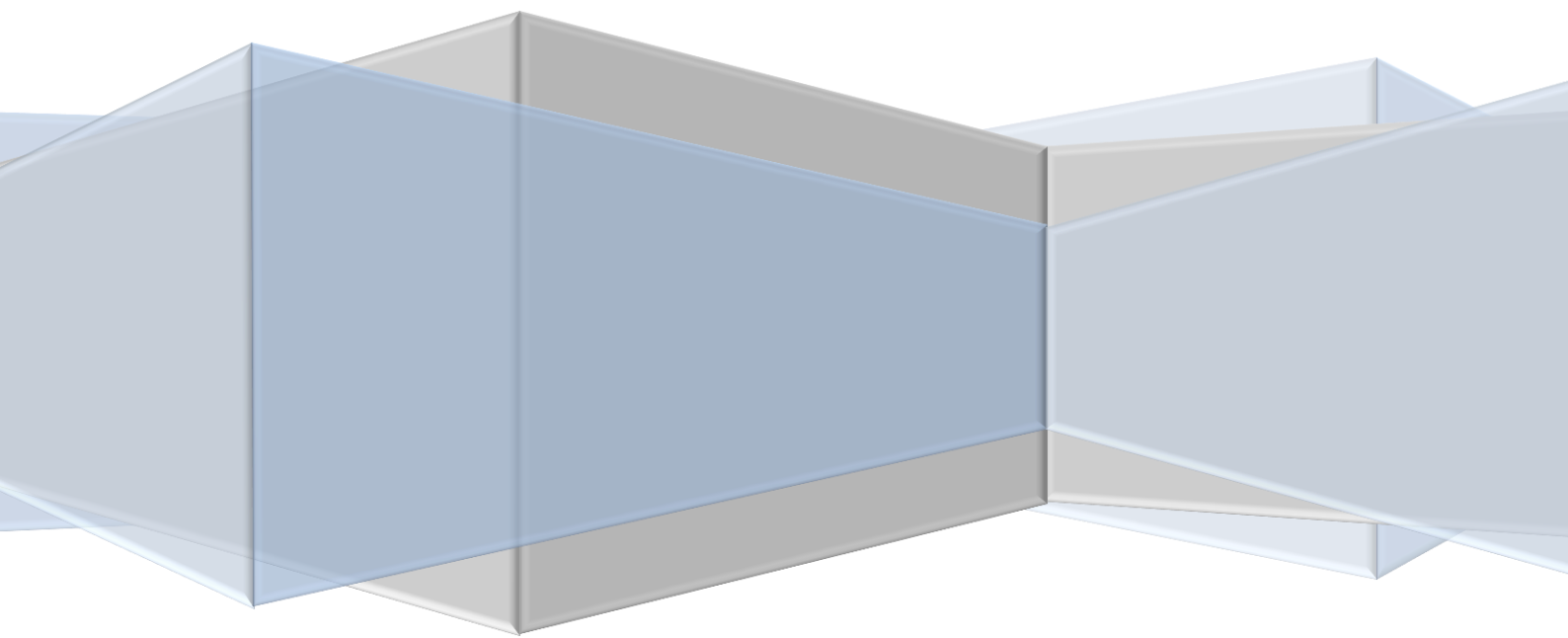


2013 年上半期レポート

＜軽量版＞音楽ソフト／映像ソフト／書籍

調査対象期間：2012 年 12 月 31 日～2013 年 6 月 30 日

オリコン・リサーチ株式会社 <http://biz.oricon.co.jp>



音楽ソフト 2013 年上半期状況

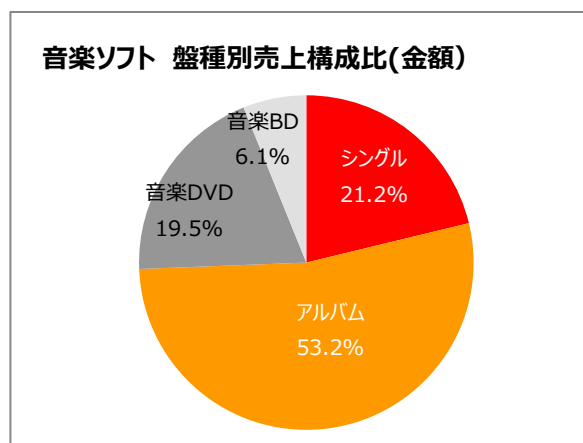
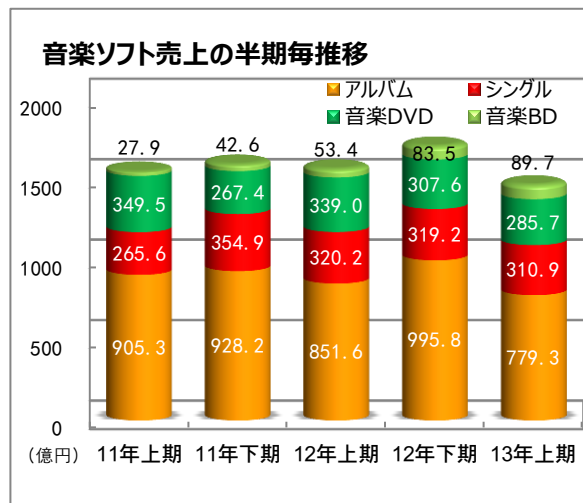
<概況>

急伸音楽 BD、前年比 167.9%に

CD シングルや CD アルバムに加え音楽 DVD・音楽 Blu-ray Disc（以下 BD）を総合した音楽ソフト市場の 2013 年上半期総売上額は 1465.6 億円、対前年同期比は 93.7%となった。4 年ぶりの売上増となった前年から一転、前年実績を割り込む流れとなっている。

盤種別の状況では、シングル、アルバム、音楽 DVD・BD 計のいずれも売上を減少させたが、なかでも減少率を抑えたのがシングルで、売上額は 310.9 億円、対前年同期比は 97.1%だった。アイドル関連作品が強力に売上を牽引するのが最近の特徴だが、当期もその傾向が顕著だ。

シングルに次いで市場を維持したのが音楽 DVD・BD の映像商品である。DVD・BD の合計売上額は 375.4 億円、対前年同期比は 95.7%と、上半期実績での前年割れは 4 年ぶりのことになる。個別の状況では、DVD は前年からの減少傾向が当期さらに拡大し、対前年同期比で 84.3%となり、音楽映像メディアにおける主力商品が DVD から BD へのシフトがいよいよ本格化したことを表している。その音楽 BD は当期売上対前年同期比 167.9%と急伸。12 年上半期内で売上 1 億円以上を記録した音楽 BD タイトルは 11 作だったのに対し、当期では 17 作に増加している。また、音楽映像パッケージ売上額に占める BD 売上の割合は、12 年上半期の 13.6%から 23.9%にまで拡大した。しかし、BD の伸びが DVD の減少をカバーしきれず、結果として売上減となっており、メディアの過渡期とはいえ、こうした傾向は引き続き下期以降の懸念材料になりそうだ。



一方、アルバムではシングルや DVD 及び BD の音楽映像パッケージ以上に苦しい状況となった。当期アルバム売上額は 779.3 億円、対前年同期比で 91.5%と、上半期実績では 7 年連続で売上減という状況となった。10%以上の減少が続いた 09 年～11 年と比較すれば、減少率自体は落ち着いているものの、市場規模としては 06 年と比較して半減。牽引作と言う点でも、12 年上半期では Mr. Children のベスト作 2 種がそれぞれ 100 万枚を超える売上を記録することでアルバム市場を支えることになったが、今期ではそれに匹敵するタイトルが不在だったことに加え、1 作あたりの売上が一回り縮小していることも影響していると思われる。

映像ソフト 2013 年上半期状況

<概況>

3年ぶりの売上増、BD 市場成長が貢献

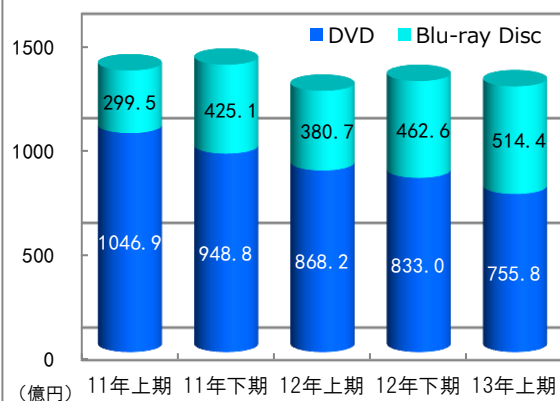
DVD と Blu-ray Disc（以下 BD）を合計した映像ソフト市場の 2013 年上半期総売上額は 1,270.2 億円、対前年同期比は 101.7%となった。映像ソフト売上額は、地上テレビ放送のデジタル完全移行を翌年に控えた 2010 年を一旦のピークとして、2 年連続で売上が減少していたが、今期は 3 年ぶりの売上増となった。音楽ソフト市場と重複している音楽映像分の売上を除いた実績では、売上額は 894.8 億円、対前年同期比は 104.5%とやはり前年を上回る結果になった。

売上増の最大の要因は BD 売上の拡大にあり、当期 BD の売上額は 514.4 億円で対前年同期比は 135.1%、音楽ソフトを除いた売上額は 424.7 億円で対前年同期比は 129.8%となる。音楽洋楽以外のすべてのジャンルで前年実績を上回ることになったが、最も売上の拡大幅が大きかったのがアニメジャンルだ。『エヴァンゲリオン新劇場版:Q EVANGELION:3.33 YOU CAN (NOT) REDO.』や『ONE PIECE FILM Z』の劇場用アニメの話題作から OVA『機動戦士ガンダム UC』の最新巻、TV アニメのヒット作『ガールズ&パンツァー』シリーズなどラインナップに恵まれた。売上額 280.9 億円は BD 全体の 54.6%を占めており、また対前年同期比も 131.4%となった。

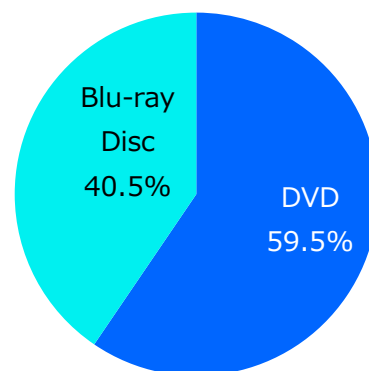
BD 売上が拡大する一方で減少が進んでいるのが DVD 売上。当期の DVD 売上額は 755.8 億円で対前年同期比は 87.1%である。購買メディアの中心が DVD から BD へシフトするなか自然な流れといえるが、売上比率にも変化が顕著と

なっており、前年同期での売上枚数の比率が BD と DVD でおおよそ 2:8 だったのに対し、当期ではおおよそ 3:7 となった。また、売上額では前年同期がおおよそ 3:7 だったのに対し当期は 4:6 まで変化している。伸長率でも「邦楽」「バラエティ・お笑い」といったジャンルで前年から 80%近くの増加を示した。映画やアニメなどと比べてもライトなユーザー層で構成されることが多いジャンルでの売上の伸びをみても BD へのシフトが本格化してきており、DVD 売上の縮小、そして BD 売上の拡大という傾向は今後さらに進むものと考えられる。

映像ソフト売上の半期毎推移



映像ソフトの盤種別売上構成比(金額)



書籍 2013 年上半期状況

<概況>

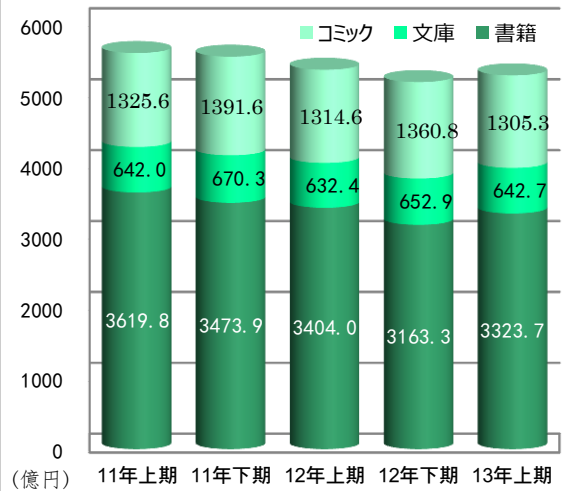
前年比 98.5%と微減も文庫売上で前年上回る

2013 年上半期の書籍市場の総売上額は 5271.7 億円で対前年同期比は 98.5%、総売上部数では 6 億 747 万部と対前年同期比は 99.0%となった。

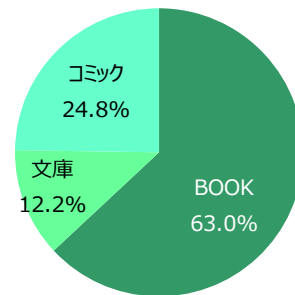
部門別の状況は、BOOK 部門の売上額が 3323.7 億円で対前年同期比は 97.6%。売上部数は 2 億 6917 万部と対前年同期比は 98.6%となっている。これまで主力として BOOK 市場を牽引してきた『タニタ食堂』や『ロングブレスダイエット』、『カーヴィーダンス』が落ち着いたこと、またアジア情勢を背景にした旅行ガイドなどが減少したことも売上減少の要因となったとみられる。それらと入れ替わるように売上を拡大させたのが自己啓発書。内容的には話題の授業の書籍化作品『スタンフォードの自分を変える教室』（大和書房）や、継続的なヒット作となっている『聞く力 心をひらく35のヒント』（文藝春秋）や『できる大人のモノの言い方大全』（青春出版社）といったコミュニケーション力をテーマにしたものと、トレンドとしては数年来の動きであるが売上が拡大することになった。

今期唯一、部門売上としては前年同期実績を上回ったのが文庫部門である。売上額は 642.7 億円で対前年同期比は 101.6%、売上部数は 9767.6 万部で対前年同期比は 100.2%である。映画やドラマといったメディアミックス商品が主力になる売れ筋構成は基本的に変わっていないが、東野圭吾や有川浩といった人気作家陣に加え本屋大賞受賞以来、注目度を集める百田尚樹作品が映像化によって更なる注目を集

書籍売上の半期毎推移



書籍売上額の部門別構成(金額)



めることになったこと、またライトノベル売上の伸長も今期好調の要因になったようだ。

コミック部門の状況は売上額が 1305.3 億円で対前年同期比は 99.3%、売上部数は 2 億 4061.6 万部と対前年同期比は 99.3%となり、売上額と売上部数のいずれも前年割れとなっている。今期 TV アニメ化によって『進撃の巨人』（講談社）が第 2 期といえるブレイクを果たし、また、『暗殺教室』（集英社）といった作品も単行本化と同時に人気を博すなどした。しかし、市場全体でみると既存人気作品の伸び悩みが目立ち、加えて作品の新陳代謝も期待されたほど進まなかったことが市場停滞につながったとみられる。

<本レポートのデータについて>

本レポートにおける市場規模等のデータは、弊社で集計しております各種ランキング同様に、全国の調査協力店での実際の販売数をもとに全国総実売の状況を推計したものです。売上金額はすべて税込となっております。音楽・映像ソフトの調査・集計には、全国のCDショップ、書店やレンタル業も行なう複合店、家電量販店、コンビニエンスストア、アニメ関連等のジャンル専門店、インターネット通販など計2万8380店より報告いただきました販売数、加えてイベント会場などの店頭販売以外の販売実績も集計されます。書籍に関する調査は、全国の書店、CD販売やレンタル業も行なう複合店、アニメ関連等のジャンル専門店やインターネット通販など計1907店のご協力をいただいております。

<データの内容に関するお問い合わせ>

当レポートに掲載しております資料は、集計された資料の一部です。さらに細かい資料やオーダーデータをご希望の場合、下記アドレスまでご連絡ください。

お問い合わせアドレス： info-biz@oricon.jp

また、エンタメ業界必須のプロフェッショナルツール『ORICON BiZ online』も公開中。詳しくは下記アドレスまで。

ORICON BiZ online： <http://biz.oricon.co.jp>

<刊行物のお知らせ>

2012年のエンタテインメント市場をデータで振り返る決定版『ORICON エンタメ・マーケット白書 2012』発売中。音楽・映像・書籍のトレンドやマーケットの動きを捉えるエンタテインメント・ビジネス・マーケティングの必携の書。全国書店・インターネット通販でお求めいただけます。

ORICON エンタメ・マーケット白書 2012 紹介ページ： <http://biz.oricon.co.jp/hakusho>